



# 確かな「未来」に向けて

港湾都市として発展してきた酒田市、鳥海山の自然に恵まれた八幡町、城下町で歴史と文化が薫る松山町、豊かな緑と水にあふれる平田町は、平成17年11月1日にその地域の力と魅力を合わせて新たに船出しました。

時代は、人口の増加から減少へ、大量消費の社会システムから環境にやさしいライフスタイルへ、地方分権の進展による地域間競争の時代へと大きなうねりの中にあります。更には、産業構造の変革、国際化・情報化の進展といった、めまぐるしく押し寄せる波を、私たちの英知と新たな発想のもとに乗り越え、更なる飛躍と発展を目指し、確かな未来を築いていかなければなりません。

こうした時代の潮流を踏まえ、各地域での「まちづくり意見交換会」、公募市民による「まちづくり50人会」など、多くの市民の皆さんからご意見をいただきながら、平成20年度を初年度とした10年間の市政運営の指針となる「酒田市総合計画」を策定しました。

本計画では、基本理念で「人」「ふるさと」「交流」をキーワードとし、先人達から受け継いできた歴史、文化、自然を大切に、誇りと希望にあふれるまちづくりを展開していきます。都市の将来像は、3つの基本理念

をシンフォニーとして奏でることにより、「人いきいき まち快適 未来創造都市 酒田」を目指します。

施策の展開にあたっては、8章からなる「施策の大綱」に定めた方向性に基づき、各分野の市民サービスを充実し、質の高い市民生活を創り上げます。

今回の大きな特徴として、賑わいと活力、雇用を生み出す産業の創造のために、今後10年間最優先に取り組んでいく重点プロジェクトを設けています。目標数値を明らかにした「雇用創造」「市民元気」「個性創造」「まち快適」の4つ重点プロジェクトに取り組み、各施策を有機的に結合させ総合力を発揮することにより、本市の夢あふれる未来を築いていきます。

これからの10年間は、合併による各地域資源の融合と新分野へのチャレンジによる更なる飛躍と発展に向けた大切な期間となります。市民、事業者、行政が心一つにして、希望と活力にあふれるまちづくりを進めていきたいと思っております。

最後に、この計画策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、熱心にご審議いただいた総合計画審議会委員ならびに市議会議員の皆様にご心より感謝申し上げます。

平成20年1月

酒田市長  
阿部 寿一